

# 令和6年度 旭東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和6年度 旭東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
実施月日			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	142	53	47	6.0	15.0
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

## 2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
実施月日			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	146	64.4	48.4	45.4	45.0	47.1	5.1	4.7	14.1	4.9	6.6
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
9月3日	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9
2 年	学校	132	67.0	54.2	47.4	48.8	50.0	9.0	3.5	9.8	6.8	8.0
	大阪市	—	66.1	49.9	51.4	49.5	54.6	8.4	4.6	8.2	6.1	7.0
1月9日	大阪府	—	65.5	49.5	50.7	47.2	54.0	9.3	5.2	9.5	7.4	7.9
1 年	学校	117	51.6	44.1	42.7	50.4	52.5	11.6	8.2	11.3	5.5	7.4
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	4.0	4.9
1月9日	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

- ※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施  
 ※ 1年生の理科は化学的領域を選択  
 ※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はB問題を選択  
 ※ 3年生の理科はC問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
実施月日						
3 年	学校	139	96.8	93.4	138.0	98.2
10月22日	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャト ルラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
	126										
2 年 男 子	学校	27.74	26.24	42.92	50.49	76.46		8.24	190.29	17.21	38.38
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76		8.08	194.64	19.84	41.10
	全 国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98		7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	25.86	26.26	47.18	51.46	58.02		8.84	181.22	12.20	53.06
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98		9.01	167.01	12.04	47.51
	全 国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67		8.96	166.32	12.40	47.37

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査

平均正答率において全体的に全国平均を下回っている。平均正答率で全国平均と比べると国語は－5.1ポイント、数学は－5.5ポイント、であった。特に国語では「書くこと」の領域において平均正答率が53.9%で全国平均正答率を11.4ポイント下回り、数学では「関数」の領域において平均正答率が53.9%で全国平均正答率を6.8ポイント下回っているのが今後の課題である。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

平均正答率で大阪府平均と比べると国語－0.8ポイント、社会－2.0ポイント、数学－3.7ポイント、理科－7.3ポイント、英語－6.5ポイントで大阪府平均をすべての教科で下回っていた。また、平均無回答率について、理科において大阪府平均より高いので今後の課題である。

○中学生チャレンジテスト(2年生)

平均正答率で大阪府平均と比べると国語＋1.5ポイント、＋社会4.7ポイント、数学－3.3ポイント、理科＋1.6ポイント、英語－4.0ポイントで、大阪府平均を3教科で上回った。昨年度大阪府平均をすべての教科で下回っていたので、全体的に学力が向上している。

○中学生チャレンジテスト・plus(1年生)

平均正答率で大阪府平均と比べると国語－6.9ポイント、数学－7.1ポイント、英語－9.0ポイントで、大阪府平均を3教科とも下回っていた。plusについては、社会－9.6ポイント、理科－5.2ポイントで大阪市平均を下回っていた。全教科において基礎学力をつけていかなければならない。

○大阪市英語力調査(GTEC)

読むこと、聞くこと、書くこと、話すことに関するスコアは、大阪市平均スコアをすべて下回っていた。特に、大阪市平均スコアと比べ、読むこと－11.2ポイント、書くこと－11.6ポイントであったので今後の課題である。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

体力合計点において、男子では全国平均より3.48ポイント下回り、女子では全国平均より5.69ポイント上回った。男子の調査項目では、測定した8項目中1項目において全国平均を上回り、女子の調査項目では、測定した8項目中7項目において全国平均を上回った。男子の体力・運動能力の向上が今後の課題である。

【今後に向けて】

◇教科指導力の向上や生徒の学習環境の整備に取り組む。

◇校内研修を持続発展させ、学習規律の確立、教科指導の研究をさらに進めることによって、生徒の学力向上に結び付ける。

◇習熟度別少人数授業やTTを一層工夫し、基礎・基本の徹底とともに、発展的学習の充実を図る。

◇オンライン授業等のICT学習環境を活用した教育活動を推進し、生徒の興味・関心と学力の向上につなげる取り組みを実践する。

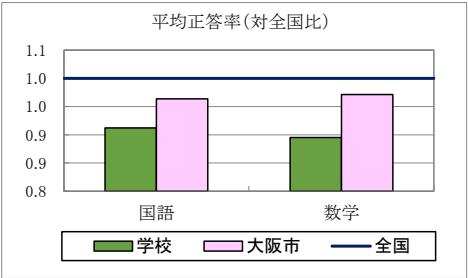
◇小中連携を強化し、基礎・基本となる学力の向上と小中の円滑な接続を図る。

令和6年度 旭東中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

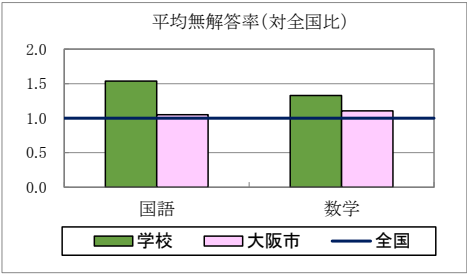
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	53	47
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

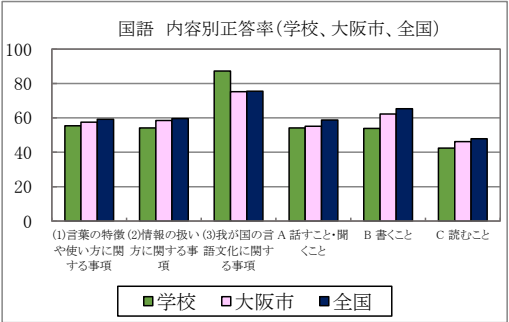


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.0	15.0
大阪市	4.1	12.5
全国	3.9	11.3



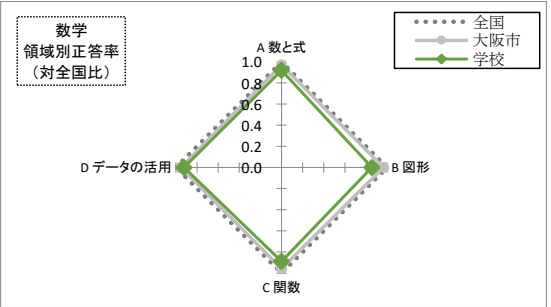
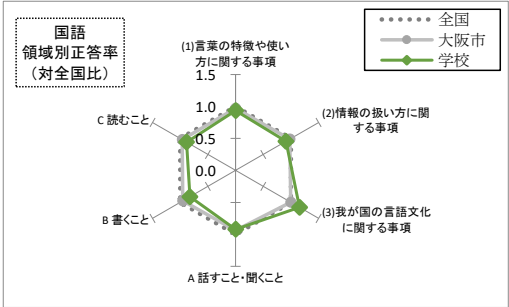
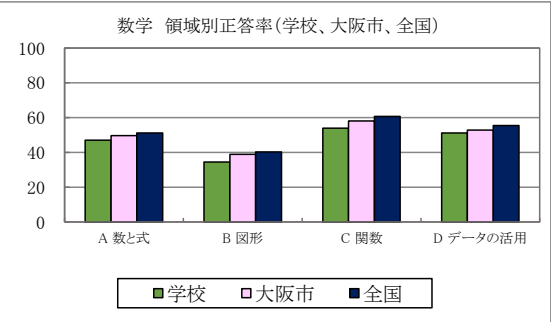
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	55.4	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	54.2	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	87.3	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	54.2	55.2	58.8
B 書くこと	2	53.9	62.2	65.3
C 読むこと	4	42.4	46.2	47.9



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	47.0	49.6	51.1
B 図形	3	34.5	38.9	40.3
C 関数	4	53.9	58.1	60.7
D データの活用	4	51.2	52.8	55.5



# 令和6年度 旭東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

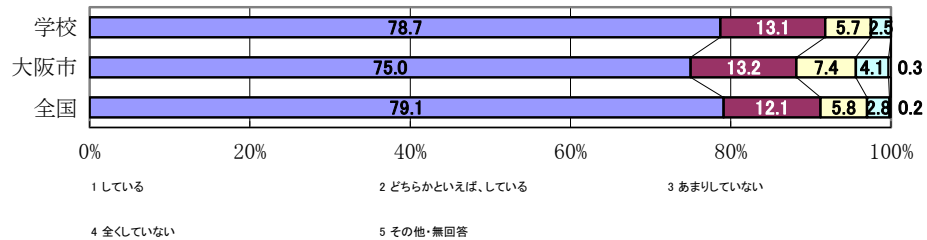
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

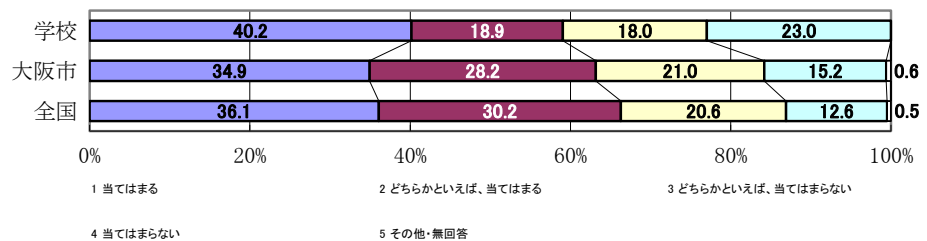
1

朝食を毎日食べていますか



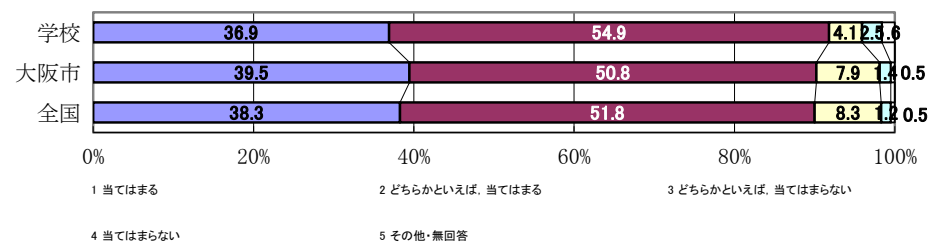
11

将来の夢や目標を持っていますか



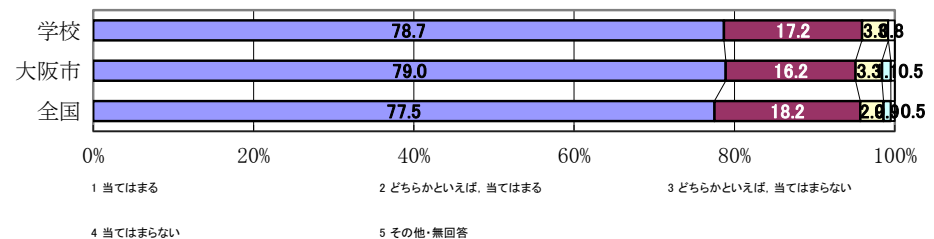
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



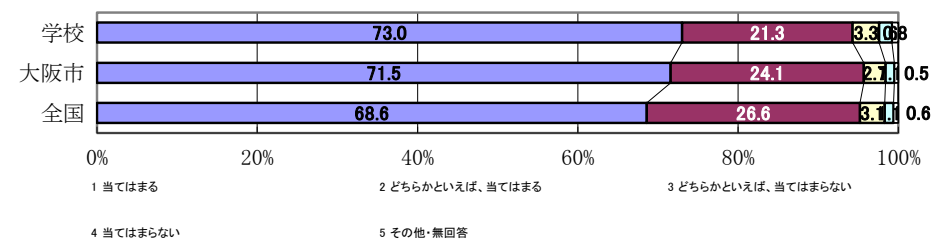
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和6年度 旭東中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

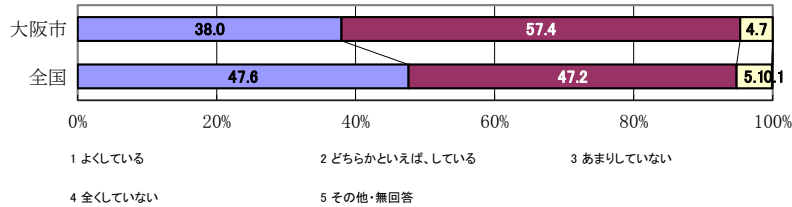
質問番号

質問事項

16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択

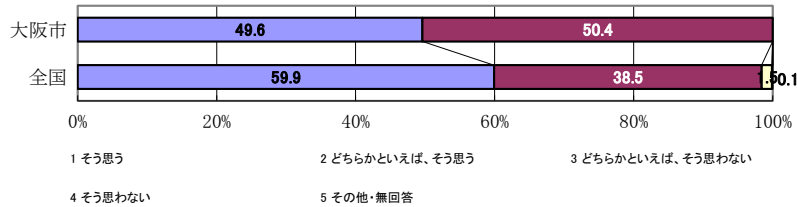


1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない  
4 全くしていない 5 その他・無回答

20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

学校 「そう思う」を選択

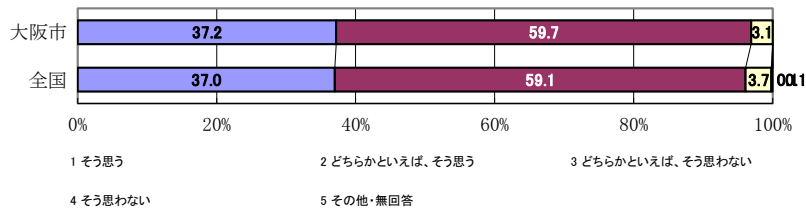


1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない  
4 そう思わない 5 その他・無回答

28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「そう思う」を選択

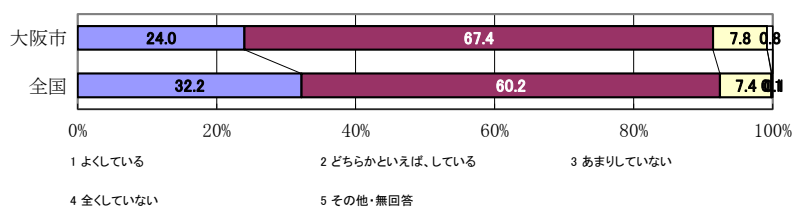


1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない  
4 そう思わない 5 その他・無回答

38

調査対象学年の生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っていますか

学校 「よくしている」を選択

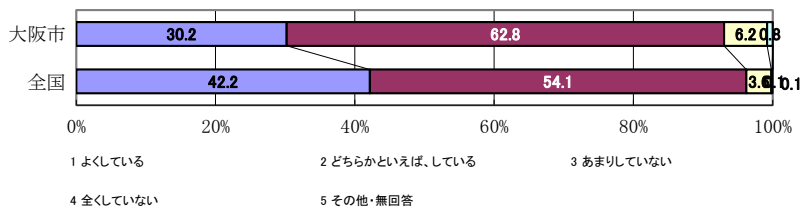


1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない  
4 全くしていない 5 その他・無回答

39

調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校 「よくしている」を選択



1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない  
4 全くしていない 5 その他・無回答